



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月13日

上場会社名 株式会社琉球銀行 上場取引所 東・福
コード番号 8399 URL <https://www.ryugin.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 島袋 健
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 比嘉 伸一郎 TEL 098-866-1212
特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	19,469	9.6	3,495	19.9	2,571	26.7
2025年3月期第1四半期	17,769	13.3	2,916	76.9	2,029	78.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 4,999百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △1,184百万円(△192.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	62.62		62.58	
2025年3月期第1四半期	49.01		48.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,113,845	143,544	4.6
2025年3月期	2,977,518	139,831	4.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 143,510百万円 2025年3月期 139,795百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2025年 3 月期	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
2026年 3 月期	—				
2026年 3 月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	△15.3	2,900	△17.4	70.13
通期	9,500	14.1	6,500	13.0	157.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	43,108,470株	2025年3月期	43,108,470株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,197,643株	2025年3月期	1,755,013株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	41,058,047株	2025年3月期1Q	41,415,699株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状況の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
四半期連結損益計算書	P. 4
四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6
(5) セグメント情報等の注記	P. 6
(6) キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P. 7
2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料	P. 8
1. 損益の概況【連結】	P. 8
(1) 概況	P. 8
(2) 参考 連結子会社の損益の状況	P. 9
2. 損益の概況【単体】	P. 10
(1) 概況	P. 10
(2) 損益分解情報	P. 11
3. 預金・貸出金等の状況	P. 12
(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移	P. 12
(2) 預かり資産（単体・末残）の推移	P. 13
(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移	P. 14
(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移	P. 15
(5) 金融再生法開示債権の推移	P. 16
(6) 自己資本比率（連結・単体）の推移	P. 17
(7) カード業務利益（単体）の推移	P. 18
(8) りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移	P. 18
(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移	P. 19
(10) リース業務利益（連結）の推移	P. 19

1. 経営成績・財政状態の概況

（1） 経営成績の概況

経常収益は、貸出金利息が貸出金残高の増加及び利回りの上昇により増加したことおよび有価証券利息配当金が国債残高の積上げにより増加したことにより前年同期比17億円増加の194億69百万円となりました。

一方、経常費用は、人件費増加による営業経費の増加および預金金利引上げによる預金利息の増加等により前年同期比11億21百万円増加の159億74百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比5億79百万円増加の34億95百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比5億42百万円増加の25億71百万円となりました。

（2） 財政状態の概況

財政状態について、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,363億27百万円増加の3兆1,138億45百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比37億13百万円増加の1,435億44百万円となりました。

主要勘定としては、預金等（譲渡性預金を含む）は、公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比1,182億19百万円増加の2兆9,009億37百万円となりました。貸出金は、前連結会計年度末比52億52百万円増加の1兆9,853億69百万円となりました。有価証券は主に国債の購入等により前連結会計年度末比1,227億56百万円増加の8,103億22百万円となりました。

（3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日公表の第2四半期（累計）連結業績予想に対し、当第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の進捗率は約88%となっております。しかしながら、金融市場の動向が業績に与える影響等を見極める必要があることから、2026年3月期の第2四半期累計期間ならびに通期の連結業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	171,575	177,945
コールローン及び買入手形	216	217
金銭の信託	518	514
有価証券	687,566	810,322
貸出金	1,980,117	1,985,369
外国為替	3,036	2,420
リース債権及びリース投資資産	28,918	29,436
その他資産	48,944	50,275
有形固定資産	44,424	46,282
無形固定資産	4,454	4,453
退職給付に係る資産	1,855	1,822
繰延税金資産	7,533	6,259
支払承諾見返	7,231	7,038
貸倒引当金	△8,873	△8,512
資産の部合計	2,977,518	3,113,845
負債の部		
預金	2,770,119	2,869,664
譲渡性預金	12,598	31,273
借入金	19,535	18,824
外国為替	47	112
その他負債	24,184	40,066
賞与引当金	872	241
役員賞与引当金	9	—
退職給付に係る負債	603	604
役員退職慰労引当金	33	30
偶発損失引当金	108	103
ポイント引当金	179	177
利息返還損失引当金	163	162
再評価に係る繰延税金負債	1,999	1,999
支払承諾	7,231	7,038
負債の部合計	2,837,687	2,970,300
純資産の部		
資本金	56,967	56,967
資本剰余金	14,260	14,260
利益剰余金	76,991	78,777
自己株式	△1,840	△2,339
株主資本合計	146,379	147,666
その他有価証券評価差額金	△7,605	△5,168
土地再評価差額金	737	737
退職給付に係る調整累計額	283	274
その他の包括利益累計額合計	△6,583	△4,155
新株予約権	35	34
純資産の部合計	139,831	143,544
負債及び純資産の部合計	2,977,518	3,113,845

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
経常収益	17,769	19,469
資金運用収益	7,718	9,155
（うち貸出金利息）	6,732	7,997
（うち有価証券利息配当金）	924	1,002
役務取引等収益	3,238	3,325
その他業務収益	5,559	5,800
その他経常収益	1,252	1,187
経常費用	14,853	15,974
資金調達費用	311	1,216
（うち預金利息）	115	1,166
役務取引等費用	1,446	1,571
その他業務費用	5,486	5,524
営業経費	7,318	7,459
その他経常費用	289	201
経常利益	2,916	3,495
特別利益	－	0
固定資産処分益	－	0
特別損失	15	2
固定資産処分損	15	2
税金等調整前四半期純利益	2,900	3,493
法人税、住民税及び事業税	642	731
法人税等調整額	228	190
法人税等合計	871	921
四半期純利益	2,029	2,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,029	2,571

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,029	2,571
その他の包括利益	△3,213	2,428
その他有価証券評価差額金	△3,213	2,437
退職給付に係る調整額	△0	△8
四半期包括利益	△1,184	4,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,184	4,999

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当ありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当ありません。

(5) セグメント情報等の注記

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用 保証業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	11,538	4,590	752	118	768	17,768	0	17,769	—	17,769
セグメント間の 内部経常収益	316	34	185	43	61	641	78	720	△720	—
計	11,854	4,625	938	162	830	18,410	79	18,489	△720	17,769
セグメント利益	2,651	157	115	134	42	3,100	12	3,112	△196	2,916

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、現金精査整理業務、産業・経済・金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業	信用 保証業	IT事業	計				
経常収益										
外部顧客に対する経常収益	13,138	4,640	759	92	839	19,469	0	19,469	—	19,469
セグメント間の 内部経常収益	320	37	237	66	60	722	34	757	△757	—
計	13,458	4,677	996	158	900	20,191	34	20,226	△757	19,469
セグメント利益	3,122	200	220	108	35	3,687	0	3,687	△192	3,495

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていないセグメントであり、産業・経済・金融に関する調査研究業務等であります。

3 「調整額」は主にセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5 「その他」の区分に含まれていたりゆうぎんビジネスサービス株式会社は、2024年10月24日付で清算終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	813百万円	801百万円
のれんの償却額	7百万円	7百万円

2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

1. 損益の概況【連結】

(1) 概況

経常利益は、人件費等の経費の増加や株式等損益の減少があったものの、貸出金利回りの上昇による預貸金収支の増加や有価証券利息配当金の増加等による資金利益の増加および貸倒引当金戻入益の計上により、前年同期を5億79百万円上回る34億95百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を5億42百万円上回る25億71百万円となりました。

連結		(単位：百万円)		
		2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2026年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比
0	経常収益	17,769	19,469	1,700
1	連結粗利益 ※	9,272	9,969	697
2	資金利益	7,407	7,939	532
3	役務取引等利益	1,792	1,753	△39
4	その他業務利益	72	276	204
5	経費(除く臨時損益)	7,319	7,471	152
6	貸倒償却引当費用	226	10	△216
7	貸出金償却	42	2	△40
8	個別貸倒引当金繰入額	235	—	△235
9	一般貸倒引当金繰入額	△47	—	47
10	偶発損失引当金繰入額	△3	△4	△1
11	債権売却損	—	—	—
12	その他の与信費用	—	13	13
13	貸倒引当金戻入益	—	358	358
14	償却債権取立益	31	30	△1
15	株式等損益	1,110	532	△578
16	その他の臨時損益	48	87	39
17	経常利益	2,916	3,495	579
18	特別損益	△15	△2	13
19	税金等調整前四半期純利益	2,900	3,493	593
20	法人税、住民税及び事業税	642	731	89
21	法人税等調整額	228	190	△38
22	法人税等合計	871	921	50
23	四半期純利益	2,029	2,571	542
24	非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	—
25	親会社株主に帰属する四半期純利益	2,029	2,571	542

※ 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)

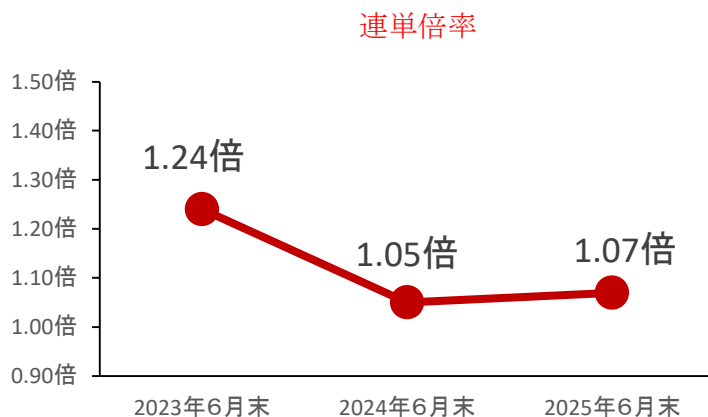
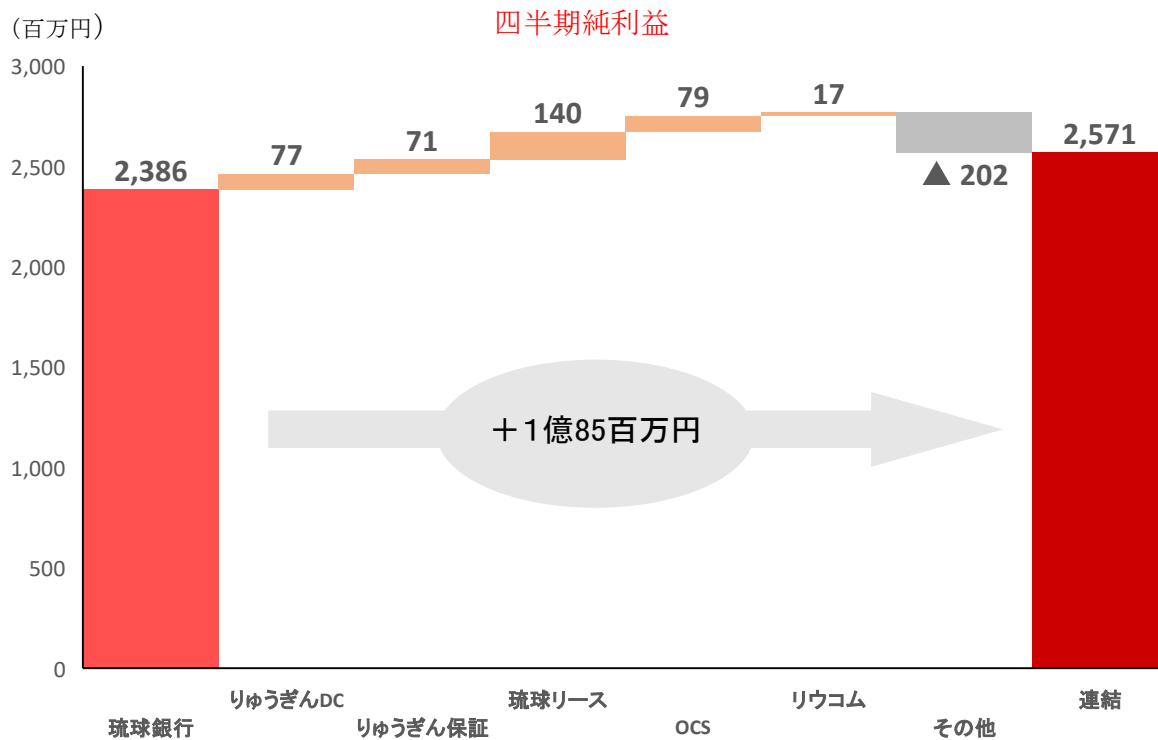
2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**（2）参考 連結子会社の損益の状況****連結**

(単位：百万円)

2026年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	連結	琉球銀行	りゅうぎん DC	りゅうぎん 保証	琉球リース	OCS	リウコム	その他※
経常収益	19,469	13,458	478	158	4,677	518	900	△722
経常利益	3,495	3,122	108	108	200	112	43	△200
四半期純利益	2,571	2,386	77	71	140	79	17	△202

※1「その他」には内部消去、(株)りゅうぎん総合研究所が含まれております。

また、「その他」にはのれんの償却費や連結上の処理が含まれているため各社の数値はセグメント表とは一致いたしません。



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

2. 損益の概況【単体】

(1) 概況

実質業務純益は人件費等の経費の増加があったものの、貸出金利回りの上昇による預貸金収支の増加および有価証券利息配当金の増加等による資金利益の増加等により前年同期を5億17百万円上回る21億28百万円となりました。経常利益は、株式等損益は減少したものの、実質業務純益の増加およびネット与信費用の減少もあり前年同期を4億71百万円上回る31億22百万円となりました。以上の結果、四半期純利益は前年同期を4億68百万円上回る23億86百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2026年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比	2026年3月期 通期予想 (12ヵ月累計)
0 経常収益	11,854	13,458	1,604	
1 業務粗利益	8,243	8,890	647	
2 資金利益	7,590	8,142	552	
3 役務取引等利益	1,227	1,195	△32	
4 その他業務利益	△575	△448	127	
5 外国為替売買損益	△407	△380	27	
6 国債等債券損益（5勘定戻）	△168	△67	101	
7 うち売却益	72	184	112	
8 うち売却損	241	252	11	
9 うち償還損	-	-	-	
10 経費（除く臨時処理分）	6,631	6,761	130	
11 人件費	2,939	3,069	130	
12 物件費	3,200	3,217	17	
13 税金	491	474	△17	
14 実質業務純益 ※1	1,611	2,128	517	9,100
15 コア業務純益 ※2	1,779	2,196	417	
16 除く投資信託解約損益	1,779	2,201	422	
17 一般貸倒引当金繰入額	△22	-	22	
18 業務純益	1,634	2,128	494	9,000
19 臨時損益	1,016	994	△22	
20 うち株式等損益（3勘定戻）	1,110	495	△615	
21 売却益	1,110	645	△465	
22 売却損	-	150	150	
23 償却	-	-	-	
24 うち不良債権処理額	147	8	△139	
25 うち貸倒引当金戻入益	-	422	422	
26 うち一般貸倒引当金	-	74	74	
27 うち個別貸倒引当金	-	347	347	
28 うち償却債権取立益	21	22	1	
29 うちその他の臨時損益	32	62	30	
30 経常利益	2,651	3,122	471	8,000
31 特別損益	△15	△2	13	
32 税引前四半期純利益	2,636	3,119	483	
33 法人税、住民税及び事業税	467	537	70	
34 法人税等調整額	250	196	△54	
35 法人税等合計	717	733	16	
36 四半期(当期)純利益	1,918	2,386	468	5,400
37 ネット与信費用（17+24-25-28）	103	△435	△538	
38 顧客向けサービス利益 ※3	1,181	1,254	73	

※1 「実質業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額を除く業務純益。

※2 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額及び国債等債券損益（5勘定戻）を除く業務純益。

※3 「顧客向けサービス利益」＝預貸金収支＋役務利益－経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**(2) 損益分解情報**

顧客向けサービス利益は、人件費等により営業経費が増加したものの、貸出金残高の増加および利回り上昇による預貸金収支の増加により、前年同期を73百万円上回りました。

市場部門損益は、国債等債券損益（5勘定戻）や有価証券利息配当金が増加したものの、株式等損益（3勘定戻）が減少したことにより、前年同期を1億49百万円下回りました。

与信コストは主に一般貸倒引当金繰入および個別貸倒引当金繰入が減少したことにより、前年同期を5億38百万円下回りました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期を4億68百万円上回る23億86百万円となりました。

(単位：百万円)

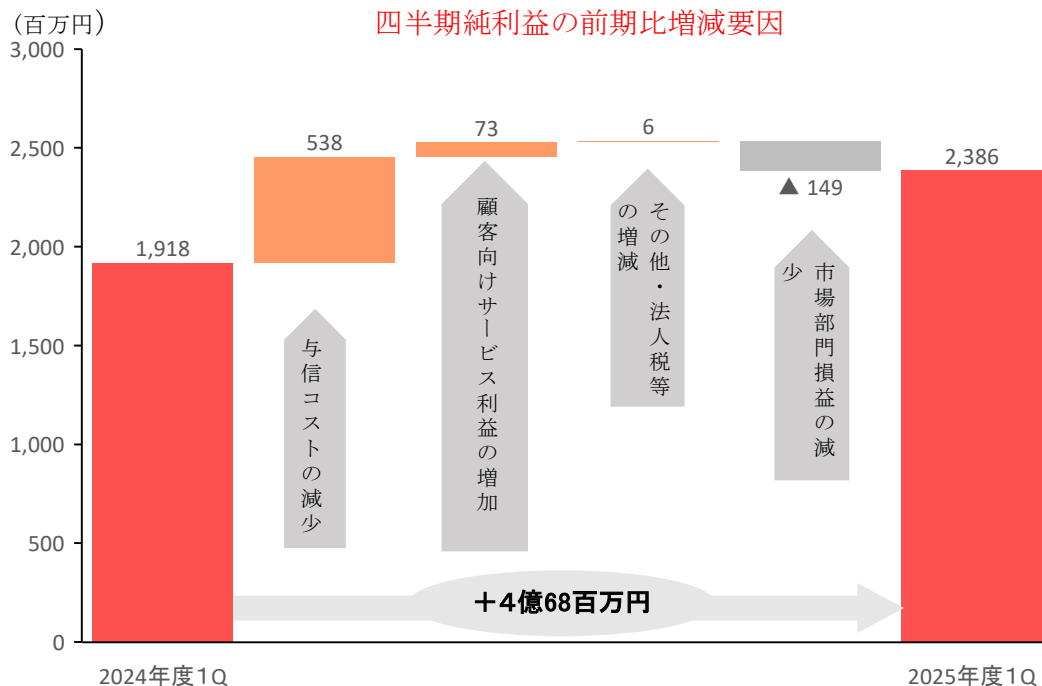
単体	2025年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	2026年3月期 第1四半期 3ヵ月累計	前年同期比
1 顧客向けサービス利益 ※1	1,181	1,254	73
2 うち預貸金収支 ※2	5,816	6,093	277
3 うち役務利益 ※3	1,995	1,909	△ 86
4 うち営業経費	△ 6,630	△ 6,748	△ 118
5 市場部門損益	1,544	1,395	△ 149
6 うち有価証券利息配当金	1,116	1,194	78
7 うち預け金利息	34	132	98
8 うち外為売買損益	△ 407	△ 380	27
9 うち債券5勘定戻	△ 168	△ 67	101
10 うち株式3勘定戻	1,110	495	△ 615
11 うち債券貸借取引支払利息	△ 168	△ 1	167
12 与信コスト関連 ※4	△ 103	435	538
13 うち一般貸倒引当金繰入 ※4	22	74	52
14 その他・法人税等	△ 704	△ 698	6
15 四半期純利益	1,918	2,386	468

※1 顧客向けサービス利益=預貸金収支+役務利益-経費（経費のうち人件費は臨時処理分控除前）

※2 預貸金収支（貸出金利息から支払ローン関係手数料相当額を控除。預金利息は資金スワップ収益を加味した実質ベース）

※3 役務利益（支払ローン関係手数料除く）

※4 与信コストについては、戻入は正の表示、繰入は負の表示



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

3. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金（単体・末残および利回り）の推移

預金（末残）は、個人預金、法人預金および地方公共団体等その他の残高が好調に推移し、前年同期末を634億円、前年度末を1,164億円上回る2兆9,123億円となりました。

預金利回りは、預金金利の引上げにより、2024年度下期比0.072ポイント上昇の0.165%となりました。

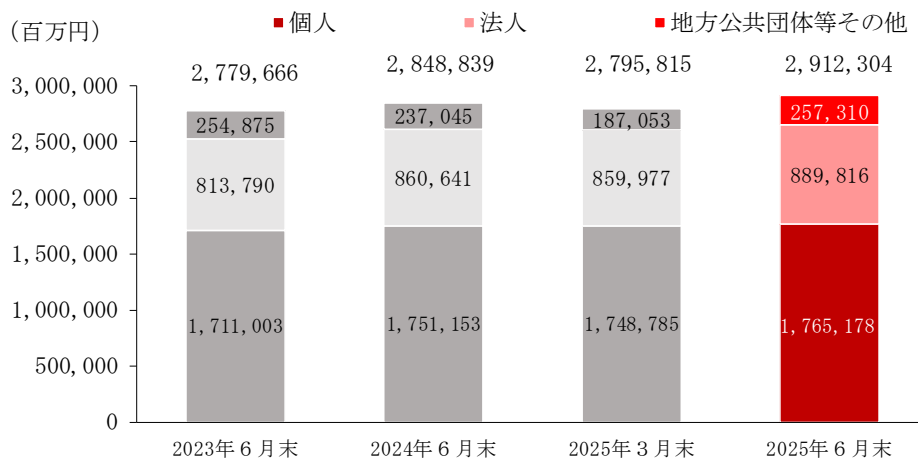
単体

（単位：百万円）

	2023年6月末	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比
預金（期末残高）※	2,779,666	2,848,839	2,795,815	2,912,304	63,465	116,489
個人	1,711,003	1,751,153	1,748,785	1,765,178	14,025	16,393
法人	813,790	860,641	859,977	889,816	29,175	29,839
地方公共団体等その他	254,875	237,045	187,053	257,310	20,265	70,257
預金（平均残高）※	2,776,550	2,832,301	2,827,364	2,867,592	35,291	40,228

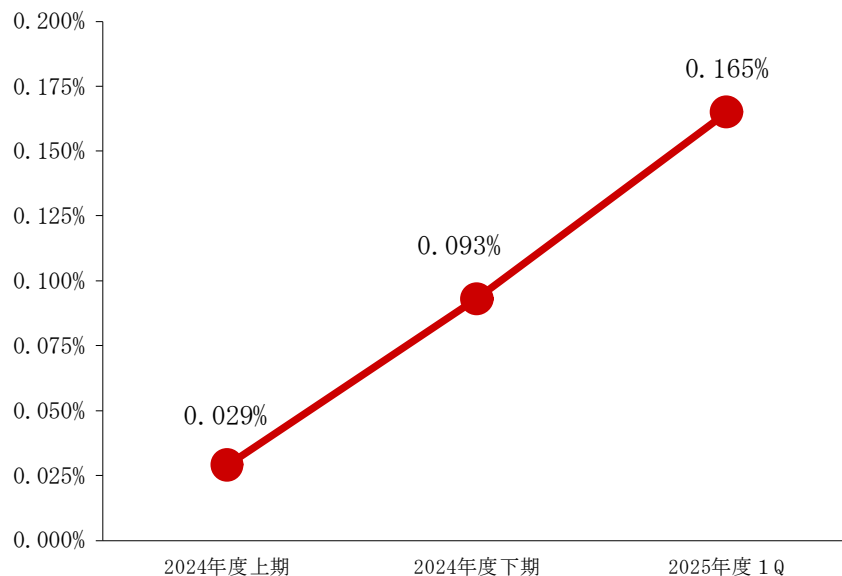
※譲渡性預金を含む

預金残高（末残）



※譲渡性預金含む。

預金利回り



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

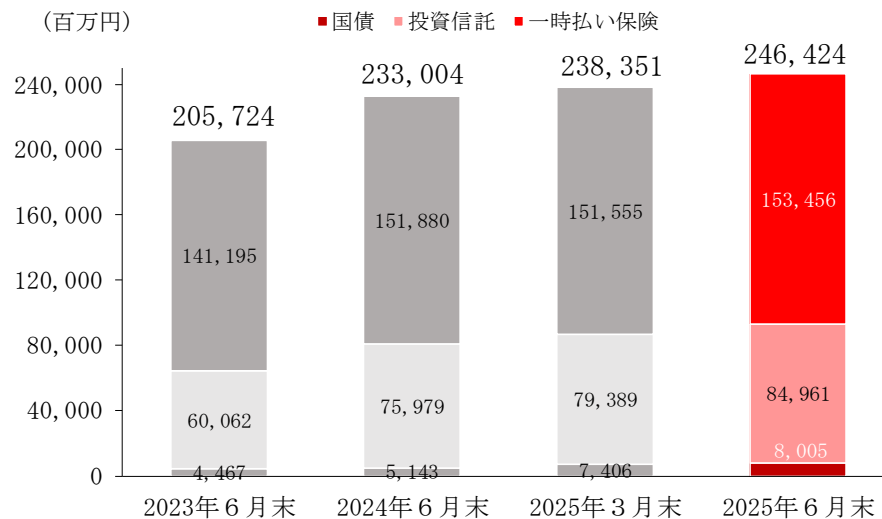
（2）預かり資産（単体・末残）の推移

預かり資産は、金利上昇による国債残高増加、投資信託の残高増加および円建保険の販売が高水準で推移したことにより、前年同期末を134億円、前期末を80億円上回る2,464億円となりました。

単体

	2023年6月末	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	(単位：百万円)	
預かり資産	205,724	233,004	238,351	246,424	2024年6月末比	2025年3月末比
国債	4,467	5,143	7,406	8,005	2,862	599
投資信託	60,062	75,979	79,389	84,961	8,982	5,572
一時払い保険	141,195	151,880	151,555	153,456	1,576	1,901

預かり資産残高（末残）



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(3) 貸出金（単体・末残および利回り）の推移

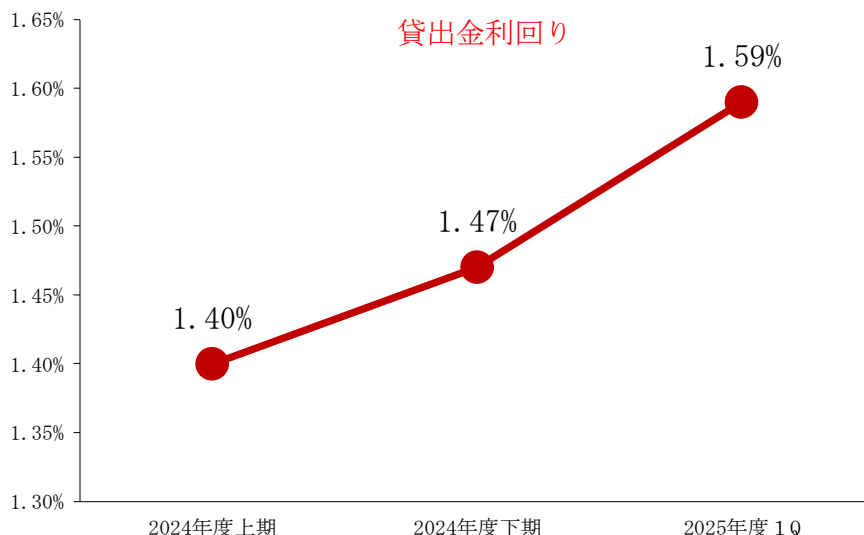
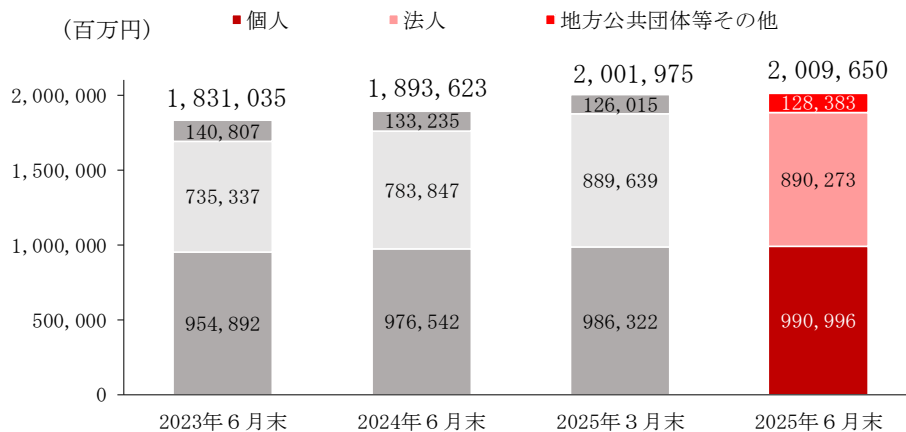
貸出金(末残)は、個人向け貸出が住宅ローンを中心に増加したことおよび、法人向け貸出が県外シンジケートローンの取組強化や県内事業資金の需要回復等により増加したことから、前年同期末を1,160億円上回る2兆96億円となりました。前年度末比は76億円増加となりました。

貸出金利回りは、短期プライムレートの引上げにより、2024年度下期比0.12ポイント上昇の1.59%となりました。

単体

(単位：百万円)

	2023年6月末	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比
貸出金（期末残高）	1,831,035	1,893,623	2,001,975	2,009,650	116,027	7,675
個人	954,892	976,542	986,322	990,996	14,454	4,674
法人	735,337	783,847	889,639	890,273	106,426	634
地方公共団体等その他	140,807	133,235	126,015	128,383	△ 4,852	2,368
貸出金（平均残高）	1,832,022	1,876,557	1,919,083	2,001,222	124,665	82,139
期末個人残高のうち住宅ローン	557,782	576,995	588,987	593,402	16,407	4,415

貸出金残高（末残）

2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(4) 時価のある有価証券の評価差額（連結）の推移

①満期保有目的の債券は、含み損が前年度末比1億円減少しました。

②その他有価証券は前年度末比で評価損が35億円減少しました。円貨債券のうち国債が中長期ゾーンの金利低下で評価損が減少したこと、およびその他のうち投資信託の評価損が減少したことが主な要因です。

国内外の債券や株式などの資産を戦略的に配分することでポートフォリオの収益性向上を目指します。

連結

①満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比
帳簿価額	79,268	27,129	32,030	△ 47,238	4,901
含み損益	△ 610	△ 1,375	△ 1,197	△ 587	178

②その他有価証券

(単位：百万円)

	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比
帳簿価額計	716,911	656,499	774,264	57,353	117,765
株式	1,381	1,437	1,255	△ 126	△ 182
円貨債券※	621,879	565,813	687,436	65,557	121,623
その他	93,650	89,248	85,573	△ 8,077	△ 3,675

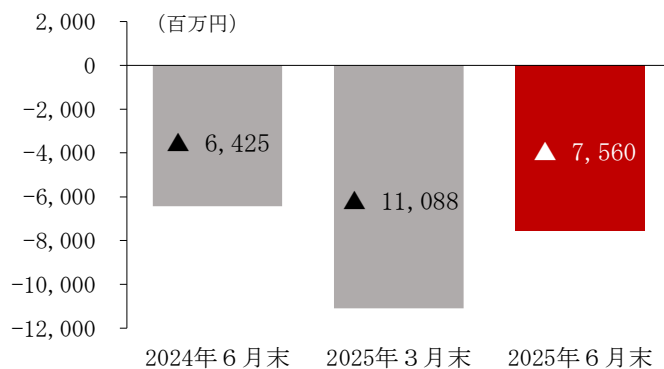
	2024年6月末	2025年3月末	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比
評価差額計	△ 6,425	△ 11,088	△ 7,560	△ 1,135	3,528
株式	608	664	682	74	18
円貨債券※	△ 5,561	△ 10,595	△ 7,960	△ 2,399	2,635
その他	△ 1,472	△ 1,157	△ 282	1,190	875

「含み損益」は、基準日時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

※円貨債券は、国債、地方債、社債を計上しております。

連結

時価のある有価証券の評価差額



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(5) 金融再生法開示債権の推移

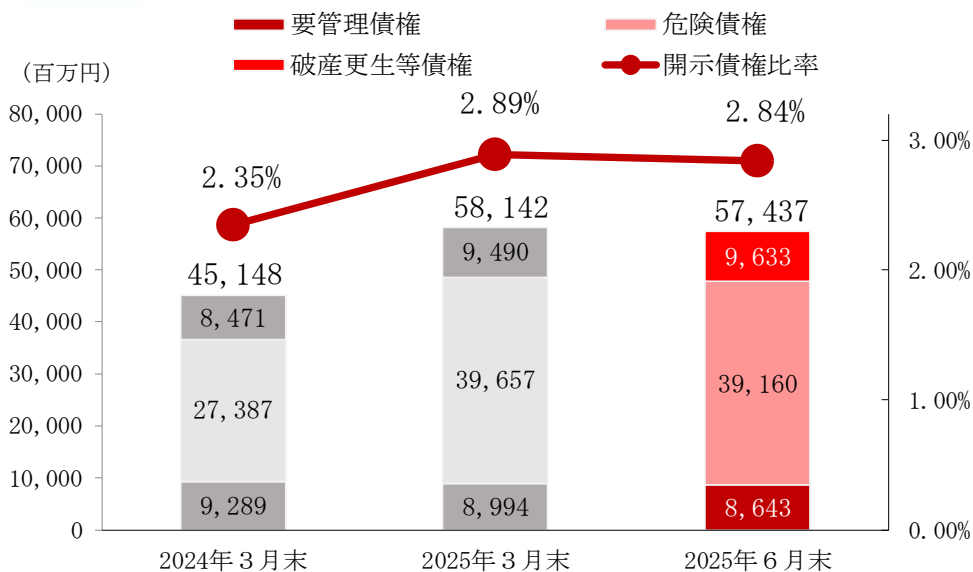
金融再生法開示債権(単体)は、危険債権および要管理債権が減少した結果、開示債権比率は、前年度末比0.05ポイント減少の2.84%となりました。当行は、事業者の事業継続可能性を見極めながら今後も地域金融機関に求められる役割をはたすべく、引き続きお客様支援を実施してまいります。

単体

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年6月末	2025年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,471	9,490	9,633	143
危険債権	27,387	39,657	39,160	△ 497
要管理債権	9,289	8,994	8,643	△ 351
合計	45,148	58,142	57,437	△ 705
	(単位：%)			(単位：ポイント)
開示債権比率	2.35	2.89	2.84	△ 0.05

連結

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年6月末	2025年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,831	11,870	12,112	242
危険債権	27,414	39,678	39,186	△ 492
要管理債権	9,742	9,428	9,060	△ 368
合計	47,988	60,977	60,360	△ 617
	(単位：%)			(単位：ポイント)
開示債権比率	2.50	3.03	2.99	△ 0.04

単体

2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

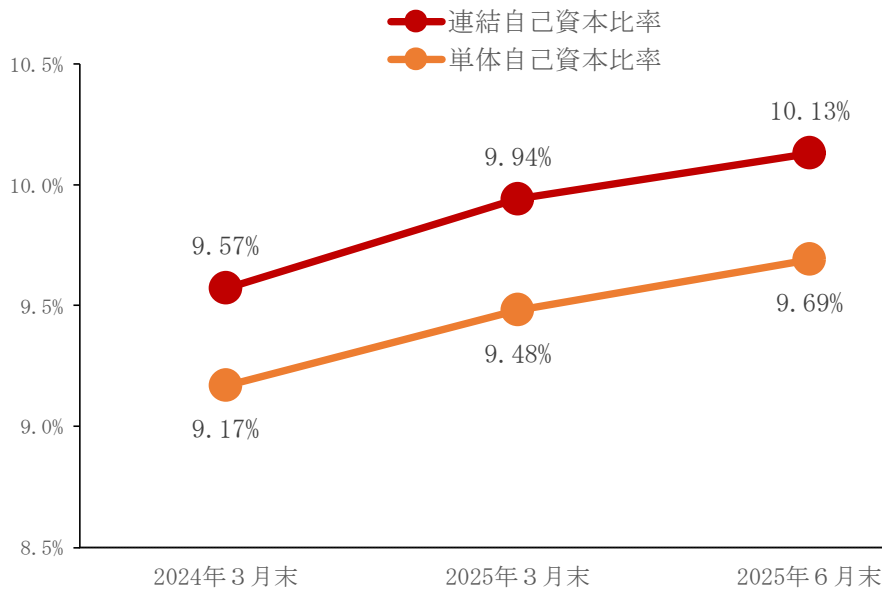
（6）自己資本比率（連結・単体）の推移

利益の積み上げ等により、連結自己資本比率は2025年3月末比0.19ポイント上昇の10.13%となり、単体自己資本比率は2025年3月末比0.21ポイント上昇の9.69%となりました。

2025年9月末の自己資本比率は、連結は10.0%台、単体は9.5%台をそれぞれ予想しています。

単体・連結

自己資本比率	(単位：%)			(単位：ポイント)
	2024年3月末	2025年3月末	2025年6月末	2025年3月末比
単体	9.17	9.48	9.69	0.21
連結	9.57	9.94	10.13	0.19



2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料

(7) カード業務利益の推移

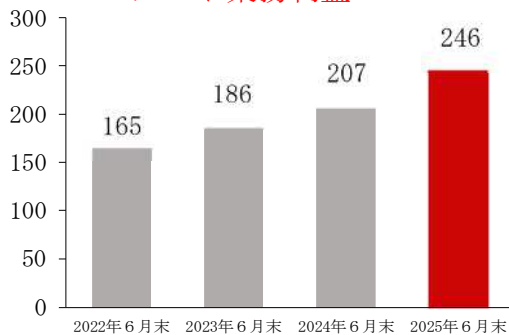
単体

(単位：百万円)

	2024年6月末	2025年6月末	2024年6月末比
カード業務利益	207	246	39
カード業務収益	640	831	191
カード業務費用(△)	433	584	151

※銀行本体で行っているりゅうぎんVisaデビットカード発行業務およびカード加盟店業務における役務利益。

(百万円)

カード業務利益

(8) りゅうぎんVisaデビットカード会員数および加盟店契約数の推移

単体

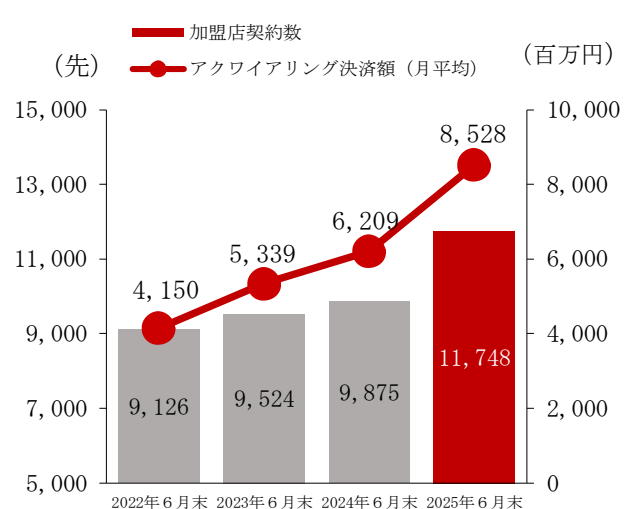
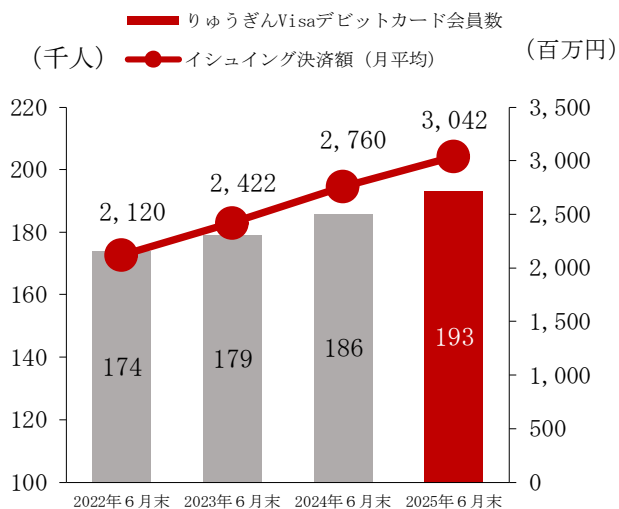
(単位 会員数：千人、契約数：先、決済額：百万円)

	2024年6月末	2025年6月末	2024年6月末比
りゅうぎんVisaデビットカード会員数	186	193	7
決済額(イシューイング)※	2,760	3,042	282
加盟店契約数	9,875	11,748	1,873
決済額(アクワイアリング)※	6,209	8,528	2,319

※決済額：1ヵ月間の合計決済額の平均(6月期は4月～6月の3ヵ月平均)

りゅうぎんVisaデビットカード会員数および決済額

カード加盟店契約数および決済額

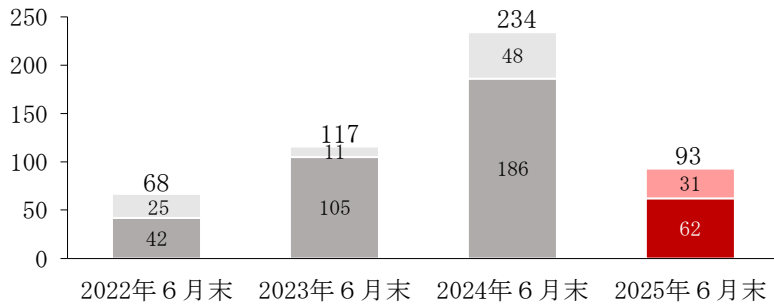


2026年3月期 第1四半期 決算概況説明資料**(9) コンサルティング業務利益（単体）の推移****単体**

(単位：百万円)

	2024年6月末	2025年6月末	2024年6月末比
コンサルティング業務利益	234	93	△141
法人向けサービス	186	62	△124
個人向け資産承継サポート	48	31	△17

(百万円) ■個人向け資産承継サポート ■法人向けサービス

**(10) リース業務利益（連結）の推移****連結**

(単位：百万円)

	2024年6月末	2025年6月末	2024年6月末比
リース業務利益	407	466	59

(百万円)

